

平成28年度 施政方針



毛呂山町長
井上 健次

よいよ本年8月に、リオデジャネイロオリンピックが開幕し、本町出身の瀬戸大也選手(泉野小・毛呂山中卒業)が、水泳競技へ出場します。

瀬戸選手は、3年前の世界水泳選手権において日本人初の400メートル個人メドレー金メダルを獲得、更に昨年、同種目の2連覇を成し遂げ、毛呂山町の名を世界に広めてくれました。

昨年11月、産業まつりにおいて「もろやま町観光大使」を委嘱させていただきましたが、町では今年2月に「リオ五輪瀬戸大也選手支援会」を発足し、オリンピックに向けて町民皆さまと一丸となって応援できるように、支援体制を整えています。

瀬戸選手が夢にむかって活躍できますよう、町としても万全の体制を図って参りますので、ぜひ多くの皆さまのご理解とご協力をお願いします。

昨

年は、柚子の当たり年ということもあり、越生町、ときがわ町と共に「桂木ゆずブランド協議会」を立ち上げ、各種PR活動など、様々な取組を行いました。今後も町の観光施策を進めながら「桂木ゆず」のGI(地理的表示)ブランド認定取得と、柚子を使った6次産業化など、様々な取組を続ける予定です。

また、平成27年度をもって、これまで町の指針としてきた「第四次毛呂山町総合振興計画」が終了しました。前計画に引き続き、新たに「第五次毛呂山町総合振興計画」、そして地方創生の旗印の下「総合戦略」を策定しました。平成27年度から今後5年間にかけての町の方針となる計画・戦略です。概要版を広報もろやま平成28年3月号と共に全戸配布いたしましたので、ぜひご覧ください。

オ

リンピックイヤーとして、胸高鳴る新年度ですが、少子高齢化社会において介護や社会保障制度では問題が山積しております。

また、大災害がいつ発生するかわかりません。災害時に被害を最小限に食い止めるには、行政だけでなく自治会をはじめ毛呂山町で暮らし、働く皆さま、一人ひとりの協力が不可欠です。

よく耳にする「安全・安心」という言葉には、「安全だから、安心である」という意味があります。福祉の面でも防災の面でも、それを実現するには、「自助・共助・公助」から成り立つ「協働の町づくり」しかないものと確信しております。

今年度も皆さまのお力をお借りしながら、さらに動きのある町政運営を進めて参る所存です。どうぞ、ご指導とご協力をお願いいたします。

MAIN BUSINESS

平成28年度の 主な事業

教育に関する事業

- 町立小・中学校のトイレ改修工事を進める
- 町立中学校の生徒全員に自転車用ヘルメット貸与
- 毛呂山中学校の大規模改造工事（2期目）を実施
- 毛呂山小学校体育館の大規模改造工事を実施
- 近隣大学への留学生の協力を得て、保育園などで生きた英語に触れる施策を導入



子育てに関する事業

- 第3子以降の出産祝い金制度がスタート
- 旭台保育園の園庭に天然芝を植栽
- 毛呂山小学校の余裕教室で岩井第一・第二学童保育所の運営を開始



高齢者に関する事業

- 高齢者向けのいきいき大学もろやまを開始
- 介護予防事業ゆずっこ元気体操の更なる普及
- 老人福祉センター山根荘を、埼玉医療福祉会（旧・毛呂病院）が運営管理。併せて本館大広間の改修工事を実施



保健に関する事業

- 中学生までのインフルエンザ予防接種費用を町で独自に一部助成
- 夏ごろを目途に健康マイレージ事業を開始
- 不妊治療費を、県補助金に上乗せして町で独自に一部助成



行政改革等に関する事業

- 国民健康保険の個人負担を2,000円減額（1人あたり33,000円）
- 夏ごろを目途に役場の土曜開庁を開始
- 防災行政無線のデジタル化整備事業が完了
- 総合公園体育館の雨漏りの原因となっている、トップライトの改修工事を実施



土木に関する事業

- 中央陸橋の修繕工事を実施
- 川角駅周辺地区整備計画の一環として、雨水排水調査を実施
- 町内全域の生活道路で順次改修工事を進める

